

RCN里山おもしろ講座

講座の2回目からは草深の森の現地で観察をしたり、近くの高花6丁目東自治会の集会所で講義を聞いたりして、森を体感して里山の理解を深めてもらいます。時間はいずれも9時30分から11時30分。自治会集会所は高花行きバスの終点そば。草深の森はその斜向かい。

◆第2回「そうふけ色に染めて」（草木染め）

8月4日（土）

日本大学薬学部薬用植物園の小村健太郎さんの指導で、森の縁辺に自生する野草のコブナグサを採取。集会所で湯を沸かしてミョウバンで煮出し、ストールやハンカチを薄い黄色に染め、里山を身近に感じましょう。絹ストール1,500円、絹ハンカチ500円のマテリアル費が受講料のほかにかかります。申込み時にどちらかをお選びください。

◆第3回「キノコってな〜に」

9月1日（土）

キノコ専門家の平尾信三さんから菌類の不思議と奥深さを解説してもらい、森に入ってキノコを観察。どのような種類がどこに生えるか、毒キノコの見分け方を教わります。シイタケの栽培法やキノコの調理法など、日ごろの関心事にも答えます。

◆第4回「素敵な森をつくるには」

11月3日（土）

森林の生態や整備を研究する福島成樹さんからは、里山を彩る広葉樹の森について管理の仕方を講義してもらい、市民の森づくりに役立っています。森を案内しながら里山団体の活動や整備のノウハウを分かりやすく解説します。

◆第5回「教えて、木の育て方」

12月1日（土）

樹木医の小池英憲さんには、樹木を成長させるための剪定・移植・育種を講義してもらいます。森に親しみを感じるのには、モミやシラカシの実生みしようから苗を自宅で育てることもあります。将来は育った木のオーナーとして草深の森に戻せるように検討します。

◆追加企画

10月は13日に会員による「森の整備」、27日にはRCN主催の第6回「森の音楽会」を実施。希望する受講者には、整備作業や音楽鑑賞に参加して、さらに草深の森のよさを知って楽しんでもらいます。